



カンパチの生産量・生産額

	生産量 (t)	
	R3	R4
全国	29,845	24,433
県	17,327	13,896
市	3,742	3,589
全国シェア	12.5%	14.7%

	生産額 (百万円)	
	R3	R4
市	3,562	3,815

鹿児島県はブリやカンパチの養殖が盛んで、全国1位の生産量を誇っています。本市においても盛んで、令和4年の生産量は3,589t。全国シェアの約15%、県内シェアの約26%を占めています。鹿屋市漁業協同組合で養殖されているカンパチは「かのやカンパチ」として、鹿児島県から認定を受けたブランド魚で、海の中のいけすで2〜3年の歳月をかけて丁寧に育てられています。年間を通して暖かく酸素を多く含んだきれいな海水に恵まれた錦江

Voice

かのやカンパチってどんな魚なの?

本市でカンパチが養殖されるようになったのは昭和63年で、それ以前はハマチ(ブリ)の養殖が盛んに行われており、市場関係者からは「かのやブリ」として高い評価を受けていました。しかし、昭和60年頃から全国的な過剰生産の煽りを受けてブリの安値が続く厳しい経営を余儀なくされ始めました。そこでカンパチ養殖への転換が図られ、平成8年頃にはほぼカンパチ養殖へ切り替えられ、現在に至っています。

近年では人口減少に加え、消費者1人あたりの魚介類消費量も減少してきており、「魚離れ」が深刻化しています。これまで鹿屋の地で受け継がれてきた「かのやカンパチ」を、この機会に改めて味わってみてはいかがでしょう。

! アカバラとカンパチ

カンパチは通常2〜3年間の養殖を行い、体長約60cm・重さ3〜4kgで出荷を行います。一方で、カンパチよりもさらに長い4〜5年かけて養殖を行い、体長約80cm・重さ8kgにもなるものを「アカバラ」といいます。アカバラは濃厚な脂のりと、ほどよい歯応えのあるやわらかな食感が特長とされています。

お手数ですが
85円切手を
お貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

POST CARD

鹿屋市役所 政策推進課
広報かのや
KANOYA 「読者のひろば」係 行

お名前/ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢/性別

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント
要・不要

皆さんからの
お便りを募集

広報誌への感想や取り上げてほしい話題のほか、市へのご意見、地域のイベントや写真など多くの情報をお寄せください。

お便りの中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております!

※掲載時に原稿の一部を手直しする場合があります。

〒893-8501
鹿屋市共栄町 20-1
政策推進課
「読者のひろば」係
☎0994-31-1123